

脱原発・放射能汚染を考える

広島高裁「伊方原発の運転差し止め」仮処分決定！ 活断層の存在・阿蘇山噴火の火山灰 危険想定が不十分

四国電伊方原発3号機に対して、山口県の3人の住民が請求した「運転差し止め仮処分」の裁判で、広島高裁の森裁判長は「四国電の危険想定が不十分」として「運転差し止め」決定を出した。原発の運転差し止めの司法判断は広島高裁で2回目である。今回は四国電の異議申し立てで約10か月後に「運転差し止め決定」が取り消された。



伊方原発は細長い佐田岬半島の付け根に立地し、瀬戸内海と豊後水道に面している。そして本州から阿蘇山につながる中央構造体の側面にある。森裁判長は決定理由で、原発の近くに活断層がある可能性を否定できないのに「四国電は十分な調査をせず、原子力規制委員会も稼働は問題ないと判断した」と指摘。また阿蘇山の噴火について

は、火山灰などの量は四国電の想定約3~5倍に上ると判断し「四国電の想定は過小だ」と結論付けた。

注目すべきは、規制委員会の判断についても「過誤や欠落」「不合理」があったことを指摘していることである。広島高裁の勇気ある事実即した判決を支持しよう！

四国電は「異議申し立て」をせずに判決に従え

四国電は異議申し立てを行わず、決定に従って、定期検査停止中の3号機の再稼働は中止すべきだ。指摘された危険性への対応策は「廃炉」しかありえない。四国の電力は充分充足している。電力会社の私的利益追及のための稼働は許されない。伊方原発の「特重施設」の設置期限は来年の3月であり、完成は1年近く遅れることが予想されている。無駄な工事は中止し直ちに廃炉に！

全ての原発の稼働を停止させ廃炉へ

2020年1月現在、再稼働中は西日本の5原発9基であった。稼働準備中は関電の高浜①、美浜③である。

一方、テロ対策施設関連で、川内①が3月、②が5月、高浜③が8月、④が10月に停止する予定である。

2020年にある原発関連の動き

2月	東北電力女川原発2号機(宮城県)について、原子力規制委員会が新規基準「適合」を正式決定	JR 常磐線の開通のため双葉駅や大野駅周辺の避難指示が解除される。
14日	原発事故後に不通が続くJR常磐線富岡-浪江間が再開し、全線開通	
16日	テロ対策施設の完成が期限に間に合わず、九州電力川内原発1号機(鹿児島県)が停止。再稼働は12月予定	
5月	福島第一原発1、2号機排気筒(高さ120m)の上半分を解体する工事完了	
	運転開始40年超の関西電力高浜原発1号機(福井県)の事故対策工事が完了。再稼働に向けた地元手続きへ	
20日	テロ対策施設の完成遅れで川内原発2号機も停止。再稼働は21年1月予定	
7月	運転開始40年超の関電美浜原発3号機(福井県)の事故対策工事が完了。再稼働に向けた地元手続きへ	
8月	テロ対策施設の完成遅れで高浜原発3号機が停止	
10月	テロ対策施設の完成遅れで高浜原発4号機も停止	
年内にも	中国電力島根原発2号機(松江市)について、規制委が新規基準「適合」と判断	
	日本原燃の使用済み核燃料再処理工場(青森県)について、規制委が新基準「適合」と判断	

伊方原発を巡る高裁決定(要旨)

100年のこだま
 大逆事件は生きている
 日時:2月1日(土)
 開場 13:00
 上映 13:30
 神戸学生青年センター



四国電力伊方原発3号機の運転を差し止めた広島高裁の決定の要旨は次の通り。▼1面参照

■司法審査のあり方
 原発運転差し止めの仮処分申し立てでは、四国電力側が、具体的な危険が存在しないことについて、相当の根拠、資料に基づき主張をすることが必要である。主張立証を尽くさない場合には、具体的な危険があると事実上推定される。

■地震に対する安全性
 四国電は佐田岬半島北岸部に活断層が存在しないと判断し、活断層が原発敷地に極めて近い場合の地震動評価を行っていないが、中央構造線断層帯の長期評価には、佐田岬半島沿岸に存在すると考えられる中央構造線(地質境界)について、今後詳細な調査が求められる」と記載されている。原発の至近距離で、中央構造線自体が正断層成分を含む横ずれ断層である可能性は否定できない。この場合に地表断層から原発までの距離は200m以内で、震源が敷地に極めて近い場合の地震動評価をすることが必要だが、四国電は十分な

調査をしないまま活断層が存在しないとして設置変更許可を申請し、規制委は問題ないと判断した。判断に過誤や欠落があったと言わざるを得ない。

■火山事象の影響による危険性
 阿蘇山の破局的噴火の火山灰が原発に到達する可能性を否定できないことを理由に、立地不適とするのは社会通念に反する。阿蘇については破局的噴火に至らない程度の最大規模の噴火を考慮すべきだ。その噴出量は四国電の想定約3~5倍になる。降下火砕物の想定は過小で、過小な想定を前提とした規制委の判断も不合理だ。

■運転差し止めの必要と差し止めを命じる期間
 原発の運用によって、住民は生命、身体に重大な被害を受ける具体的な危険があるから差し止めの必要性がある。本件は証拠調べの手続きに制約がある仮処分手続だから、四国電に運転停止を命じる期間を山口地裁が第一審判決の言い渡しまでとするのが相当だ。

首相年頭会見！疑惑には応えず、改憲に意欲(1/7 朝日)

安倍首相は7日に伊勢参拜のあとに記者会見をおこなった。昨年末から「桜」招待者名簿の管理で「違法」が指摘されている中で、記者団からの「桜」問題への質問にはたった27秒の回答しかしなかった。そして改憲については「私自身の手で成し遂げていく」と表明し通常国会での議論の進展を主張した。

福岡市長 自衛隊へ住民基本台帳の提出(1/7 朝日)

1月6日、福岡市長は「自衛官募集の対象となる住民の個人情報」を電子媒体で自衛隊に提供すると明らかにした。政令指定都市では、川崎・大阪・京都・熊本に次ぐ。これに対して福岡市の「戦争法を廃止する会」は9日に8団体が抗議して「止めるべき」の申入書を提出した。そして19日には市内で集会とデモ行進を行う。

大阪都構想の住民投票は11月1日に(1/10 朝日)

大阪維新の会は、住民投票の日程を11月1日にする方向で党内と公明党との最終調整に入った。4月には大阪市内の4箇所で開催する。そして6月までに国と協議してとの「大阪都構想」の最終案を決定し、9月に大阪府議会・市議会で最終案を採決する予定である。そして11月1日に住民投票を実施する。

麻生太郎副総理兼財務相またも民族差別(1/15 朝日)

露骨な差別発言を自己宣伝とする麻生太郎氏が、13日の講演で「日本は2000年の長きにわたって1つの場所、言葉、民族、天皇という王朝が続いている、よい国だ」と述べた。「単一民族」で「天皇制の存続」という、帝国主義的民族排外主義である。2005年にも同趣旨の発言を行い謝罪しているが、今回また右派向けの発言を繰り返した。今回も口先では「誤解が生じているのならお詫びの上訂正する」と陳謝した。

仏当局が日本の五輪招致委員会の贈賄を確認 1/15

村田光平元スイス大使からの情報によると、仏国の中立系報道機関が報じるには、仏検察当局は、ラミネ・ディアク国際陸連会長が2013年に五輪誘致のためにアフリカ出身のIOC委員の票をまとめたこと、会長の息子が日本の招致委員会から230万ドル受け取ったことが判明した。この報道では、リオ五輪、(2016)、東京五輪(2020)等の疑惑についての仏検察当局の捜査は加速している。

原発の再稼働と現状維持に13兆円

東京電力福島第1原発事故の反省から、国が原発に安全対策の強化を義務付けた新規制基準を2013年に導入したことにより、全国の商用原発で必要となった再稼働のための安全対策費と、施設の維持費、廃炉費用の総額が約13兆4569億円に上ることが15日、分かった。費用はさらに膨らむ見通しで、最終的には電気料金に上乗せされるため長期の国民負担となる。合わせて19原発57基を保有する電力11社の会計資料や、各社への聞き取り結果を共同通信が集計した。

維持、安全対策、廃炉の費用

維持費	約7兆2033億円
安全対策費 (2019年 12月時点)	約5兆4044億円
廃炉17基の 解体費	約8492億円

政府は、11年3月の事故後も原発存続を選択し、自然災害や重大事故への対策強化を義務付けた新基準を導入した。

案内 1/28 違憲訴訟判決公判に傍聴を！

安保健法をめぐる違憲訴訟の判決が、いよいよ1月28日に大阪地裁で行われる。「最終準備書面」に詳しいが、原告と弁護団は全力で闘ってきた。また12月21日の望月依塑子さんを迎えたシンポジウムは約300人の参加で成功した。ぜひ判決公判傍聴に参加して法廷を、戦争法違憲・無効の声で覆い尽くそう。控訴にも協力しよう！

日時：1月28日 15:00～(14:30 抽選！)

場所：大阪地裁 201 大法廷

案内 中国人強制連行国賠訴訟 判決公判

昨年1月29日に大阪地裁は、「日中共同声明で、裁判上の個人の賠償請求権は放棄された」とする2007年の最高裁を踏襲し、請求を棄却した。大阪高裁での控訴審判決では多数の傍聴で法廷を埋め、正義の判決を要求しよう。

日時：2月4日 14:00～

場所：大阪高裁大法廷

案内 2/11 建国記念の日反対の大阪の大阪集会

「日の君」強制反対大阪ネットが主催する集会が開かれる。今回の集会では、高嶋伸欣さんの講演「天皇&オリンピックによる『国民統合』NO! 『日の丸・君が代』強制もゴメン」が行われる。

日時：2月11日(火)13:00(開場 12:30)

場所：大淀コミュニティセンター

資料代：700円 集会後梅田までデモ



案内 2/22 森友学園問題集会

権力や公金を私物化し、友人や支持者を優遇、発覚しそうになれば、公文書を改ざん・廃棄、そして嘘と稚拙な答弁で幕引き。私たちのさらなる闘いが問われています。日時：2月22日(土)14:00 場所：アクア文化ホール(阪急曽根)

伊方3号機から使用済 MOX 取出しへ

プルサーマル発電をしてきた四国電力伊方原発3号機(愛媛県)で、使い終わったプルトニウム・ウラン混合酸化物(MOX)燃料が取り出されることになった。伊方では1月14日から16日まで使用済MOX16体の燃料集合体を取り出す。使用済MOX燃料の処理については再処理の予定がない。使用済MOXは通常の使用済ウランと比べ熱量が大きく、冷却水での保管期間は6倍が必要といわれている。今年末には関電高浜で同様に使用済MOX燃料の処理が行なわれる。この厄介な廃棄物も電力会社は「資産」として保管する。

